

「簡易な施工計画」作成の注意点

総務省が進める「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」により、徳島県電子入札システムでは、平成29年7月1日より一太郎ファイルの取扱いができなくなります。

このため、総合評価（簡易な施工計画）申請書（様式2）の標準様式をワードファイルに変更しています。

平成29年7月1日以降に簡易な施工計画を「一太郎」で作成して申請する場合は、**PDF形式に変換**して申請して下さい。

なお、簡易な施工計画をワードファイルで作成した場合も、なるべく**PDF形式にて提出**するようにして下さい。

商号又は名称：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R3 営繕 徳島東部防災拠点施設（仮称） 徳・東沖洲1 改修工事建築（1）

評価項目	「工程管理」の適切性
------	------------

具体的な施工計画

本工事は、マリンピア沖洲内にある旧印刷センターを防災拠点施設として利用するための改修工事である。

本県では、切迫する南海トラフ巨大地震への備えが喫緊の課題であり、この施設をすぐにでも利用できるよう整備するために、工事の遅れを生じさせない円滑な工程管理が必要となる。

また、別途発注の建築工事（2）、電気工事、管工事及び空調工事と工期が重なることから、他工事の工事状況を考慮した工程計画を作成し、工事を進捗させることが必要となる。

については、これらのことを踏まえ、次の全ての事項について、具体的に記述すること。

- ①適切な工程管理を行うための工夫
- ②他工事との工程調整等に関する工夫

商号又は名称：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R3営繕 徳島東部防災拠点施設（仮称） 徳・東沖洲1 改修工事建築（1）

評価項目	「工程管理」の適切性
------	------------

具体的な施工計画

①適切な工程管理を行うための工夫

②他工事との工程調整等に関する工夫

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

商号又は名称：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R3 宮繕 徳島東部防災拠点施設（仮称） 徳・東沖洲1 改修工事建築（1）

評価項目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
------	------------------

具体的な施工計画

本工事は、マリンピア沖洲内にある旧印刷センターを防災拠点施設として利用するための改修工事である。

工事期間中は、別途発注の建築工事（2）、電気工事、管工事及び空調工事に係る複数の請負業者での工事が重なり、屋外敷地は、資材置き場、資材の搬出入時のトラックや作業員の駐車場及び揚重機ヤードなど非常に混雑した空間となり、この限られた空間を有効に利用するための工夫や安全対策が必要となる。

また、屋上での工事や吹き抜け部分への足場設置による高所作業もあることから、資材等の落下事故や作業員の墜落事故の防止対策が必要となる。

さらに、建設産業の担い手育成の観点から、この工事の施工においては、県民の建設産業への関心を深めるための取組（例：実際の施工現場を活用した作業体験等）を実施することとしている。そのためには、取組の提案や提案を実施する際の事前調整、安全確保等が求められる。

これらを踏まえた上で、次の全ての事項について配慮すべき事項を具体的に記述すること。

- ①限られた外部空間を有効に利用するための工夫や安全対策
- ②高所作業における資材等の落下や作業員の墜落事故を防止するための工夫
- ③建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等

※③の有効な取組については、その費用を変更契約の対象とする（入札額には含めないこと）。

※③の申請について、受注後の事前調整の結果、実施ができないと判断できる場合は、受注者は「同等又は同等以上」の履行義務を負わない。

※③の取組については、感染症対策に十分配慮すること。

商号又は名称：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R3 営繕 徳島東部防災拠点施設（仮称） 徳・東沖洲1 改修工事建築（1）

評 価 項 目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
---------	------------------

具 体 的 な 施 工 計 画

①限られた外部空間を有効に利用するための工夫や安全対策

②高所作業における資材等の落下や作業員の墜落事故を防止するための工夫

③建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

＜記述上の留意点＞

商号又は名称： _____

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名： ○○○○○○○工事 ←※工事名が間違っていないか確認を！

評 価 項 目	「○○・○○」の適切性
---------	-------------

具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>○○ということ（工事特性）に鑑み、○○する観点から、次の事項について記述すること。</p> <p>① ○○・・・ ② △△・・・ ③ ■■・・・ ④ ××・・・</p> <p>※①の項目についての記述に対して、②の項目で評価することはないので、 テーマに沿った記述になっているのか、再確認を！</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>特に具体的な施工計画（「工程管理」の適切性に係る（補足：工程表）を除く。）を記述する枠（以下「記述枠」という。）内の文字の大きさの規格は10.5ポイント以上とする。 なお、「記述枠」の規格値は縦21.0cm、横17.0cm以内とし、55行以内で規格値以内の「記述枠」内にアンダーラインを使用しないで記述することとし、アンダーラインを使用して記述した箇所については、評価の対象としないので注意すること。 また、執行機関での印刷結果において、以下の項目に一つでも該当する場合は、「記述枠」内の全ての記述を評価の対象外とする。</p> <p>① 文字の大きさが明らかに10.5ポイントを下回る場合 ② 「記述枠」が縦・横いずれか一方でも規格値から5mmを超えて大きい場合 ③ 「記述枠」内に56行以上の記述がある場合 ④ A4版でない場合 ⑤ 指定の枚数を超えて記述している場合</p> <p>注1：手書きの場合も同様とする。 注2：文字のうち、写真・図・表等（以下「図表等」という。）の表題、図表等と一体とみなすことができる名称等、また、英数字・単位・記号・カタカナ等は上記①の対象外とする。 注3：「記述枠」内に県が記載している文章については、テーマ番号以外は削除しても良いが、記載が残っている場合は、行数に含める。 注4：空白行は、行数に含めない。 注5：写真・図は行数に含めないが、表中の行は行数に含める。</p> </div>	
<p>＜記述枠：縦21cm×横17cm以内に制限＞</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。